

地区復興まちづくり便りへの意見等

※○番号は第2回資料で紹介したものの再掲です。

■検討会の進め方・メンバーについて

| | | |
|---|--|-----------|
| ① | 情報提供と一人一人の意見を大切にしていきたいと思います。 | (70歳代 女性) |
| ② | これからも大いに情報提供と意見募集をして下さい。 | (70歳代 男性) |
| ③ | それぞれの地区の被害の現況は違いますので各地区の意見が身近な所で討議される事は大変良い事と思っております。 | (70歳代 女性) |
| ④ | 行政からの提言だけでなく、宮古市民の共同参加として共に知恵を出し合い、力を結集して意見を集約し、県内一住み良いまち、そして、大震災以上の宮古市となるよう期待しています。 | (60歳代 男性) |

■道路の嵩上げについて

| | | |
|---|--|-----------|
| ① | 今、現在は、仮設住宅に住んでいます。家は1.8m以上浸水しました。いずれ自宅を修理して住む予定です。よって、旧国道を嵩上げするというパターンAには反対です。 | (70歳代 女性) |
| ② | 津波での被害は2m浸水しました。屋根と柱が残ったので、嵩上げをして修理して住んでいます。よって、復興パターンの案は、パターンBの方に賛成します。旧国道を嵩上げすることは納得しかねます。 | (70歳代 男性) |
| ③ | 当地区の復興パターン案がA案とB案がございましたが、高浜地区の市道上下の皆様はすでにリフォームして住んでおりますのでB案の通り市道の嵩上げは必要ないと思います。 | (70歳代 女性) |

■今後の住まいについて

| | | |
|---|---|-----------|
| ① | アンケートの時は、もとの場所に住みたいと答えました。しかし、時がたってくると、高台へ住みたいと考えが変わりました。なぜなら、命だけでなく財産はもう波でぬらしたくないからです。浸水した住宅は、今でもヘドロの臭いがします。今夏は、住宅の中から白アリも出ました。浸水した住宅は高台へ移転して住み直して孫の代へ引継ぎたいです。 | (50歳代 女性) |
| ② | 高浜に多いにマンションが出きたら良いと考えている。 | (70歳代 女性) |
| ③ | 高浜地区の移転先には高齢者の為に、グループホームとか老人ホーム等もあればいいと思います。 | (80歳代 男性) |
| ④ | 高浜地区は、道路の辺りは漁業の仕事場と畑など市民への農地にする一戸建ての市営住宅は、高台へ作り、バス停も移動してほしい。日当たりの良い3区の高台。 | (50歳代 女性) |
| ⑤ | 浸水して住宅は修繕して住んでいるが、チリでも流され二度津波にあっている。もう住宅は津波では被害にあいたくない。仕事場は、同じでも住む所は高台が安全だと思う。高台へ移転したいと思う。 | (50歳代 男性) |

■避難所等について

| | | |
|---|--|-----------|
| ① | 当地区は高台が背後にありますので避難ビル等は必要ないと思います。今回避難場所として指定された金浜のセンターは遠く、高齢者の方々は移動が出来ませんでしたので、身近な所に避難所と多目的ホールを備えたセンターを早急に整備してほしいと思います。 | (70歳代 女性) |
|---|--|-----------|

■防潮堤について

| | | |
|---|---|-----------|
| ① | 第一番に後世に悔いのない為(孫・曾孫に)防潮堤を市海岸全体に高くする。海拔13m以上とする、宮古は他市より防潮堤が低いようです、国・県に強く要望すること。 | (70歳代 男性) |
|---|---|-----------|

■計画案について

| | |
|---|--|
| 1 | <p>別紙のとおり、高浜・金浜地区の将来像として提言します。</p> <p style="text-align: center;">個人住宅（高浜・金浜地区）の再建及びアクセス道についての提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高浜地区の住人の一人として、高浜・金浜地区の被災された場所は、今後住宅の再建は非常に困難と推測される。その場合、地区を離れたくない住人に対しての新たな住宅建築用地の確保が必要となる。 ● 又、高浜地区は、国道45号の寸断により完全に孤立した経緯があり、この孤立化を解消するためのアクセス道路の整備も必要である。 ● これらのことを踏まえ、住宅建築用地^①については、被災された多くの漁業従事者を考慮し、又、小学校及び中学校の通学のことも考え、高浜小学校の北側（ハザードマップP. 15を参照）の山地を整備することが得策と思われる。 ● アクセス道路については、高浜地区の孤立化を解消するため、磯鷄河南地区から八木沢地区を経由し金浜に至る宮古市道は、JR山田線ラントウ沢踏切までは完全舗装に改良済であり、この道路を活用し、この付近から高浜小学校北側の山地を整備した住宅団地を経由し、国道45号に至る道路を生活道路及び緊急避難道路として活用することは検討する余地があるのではないだろうか。 ● そしてまた、この山地を切り崩した土砂については、金浜地区の国道45号の高上げや被災した金浜地区の高上げに活用し、災害に強い地域づくりとしてはいかがでしょうか。 <p>(60歳代 男性)</p> |
| 2 | <p>今回、2回目でしたが話し合っただけで決める時間が少なかったのですが、検討会メンバーの方々の熱い思いが出て色々意見が出たようでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道45号線も高台に作ってほしいです。 ・避難道路（生活道路）を作ると自然と高台へと住宅も移転すると思いますので、早く作って下さいますようお願いいたします。 ・公共の場所にソーラーを付けてほしいです。 ・高浜は土砂崩れ危険区域が多い所です。土砂崩れを防ぐ為にも道路を作りしっかり補給して頂きたい！！ (50歳代 女性) |